※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3010

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	２	年次	２
使用教科書	高校数学Ⅰ（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、問題に対して自ら考え、正解を導くという活動を行います。
・授業用のノートを用意し、板書をしっかり書き写してください。また自分で気づいたことがあれば、余白に記入してください。ノートは定期的に提出してもらいます。
・課題のプリントについては、答え合わせをして提出してください。間違えたところは、赤ペンで解答だけを書き写すだけでなく、途中式も書くようにしてください。

２　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（１）　２次関数や三角比についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
（２）　２次関数や三角比を多面的にみたり目的に応じて適切に応用したりする力を養う。
（３）　数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	２次関数や三角比における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	２次関数や三角比を多面的にみたり目的に応じて適切に応用したりすることができる。	２次関数や三角比を通して数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	２次関数	１節　関数とグラフ １．１次関数とそのグラフ ２．２次関数とそのグラフ	a:関数の値の基本的な計算方法を理解し、正確に計算することができる。 c:関数について関心を持ち、進んで学ぼうとする。また、関数の考え方が使われる場面を見出し、意欲的に活用しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート
	２次関数	２節　２次関数の値の変化 １．２次関数の最大値・最小値 ２．２次関数のグラフと２次方程式	a:関数の値の基本的な計算方法を理解し、正確に計算することができる。 b:関数とそのグラフについて多面的に考察することができる。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート
２学期	２次関数・三角比	（２節の続き） ３．２次関数のグラフと２次不等式 １節　三角比 １．三角形 ２．三角比	a:三角比の基本的な求め方を理解し、正確に求めることができる。 b:学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に考察することができる。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート
	三角比	（２節の続き） ３．２次関数のグラフと２次不等式 １節　三角比 ３．三角形 ４．三角比	a:三角比に関係する計算方法を理解し、正確に計算することができる。 c:三角比について関心を持ち、進んで学ぼうとする。また、三角比の考え方が使われる場面を見出し、意欲的に活用しようとする。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート
３学期	三角比	（２節の続き） １．三角形の面積 ２．正弦定理 ３．余弦定理	a:三角比を応用し、正確に計算することができる。 b:三角比の応用について多面的に考察することができる。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出ノート	提出ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度